

令和4年度学校評価報告書（目標設定）定時制

| | 視点 | 4年間の目標 (令和2年度策定) | 1年間の目標 | 取組の内容 | |
|---|--------------|--|--|--|--|
| | | | | 具体的な方策 | 評価の観点 |
| 1 | 教育課程 学習指導 | <p>〈教育課程〉 (1) 生徒の多様な学習ニーズに対応するための教育課程を編成する。</p> <p>〈学習指導〉 (1) 授業の質の向上(授業改善)と量(授業時間)の確保に努め、確かな学力の定着と向上を目指す。</p> <p>(2) 生徒の学習意欲を高め、主体性、協働性、探究力を育成する。</p> | <p>〈教育課程〉 (1) 前年度までの対応課題に加えて、新旧併置となる教育課程の展開に係る諸課題の解決に向けた研究にあたる。</p> <p>〈学習指導〉 (1) ICT 利活用のほか、多様な学習指導により、基礎学力の定着と学習意欲の向上を図る。</p> <p>(2) 本校生徒の実態に応じた授業の最適化を、組織的に進める。</p> | <p>〈教育課程〉 (1) ① 課題の検出とその解決に向けた具体策の立案および実施にあたる。 ② 3修制の円滑な運用に係る諸課題を整理・改善する。 ③ 年間授業時間を確保する。</p> <p>〈学習指導〉 (1) Google for Education の活用方法に係る知識・実践などの共有化を進め、新たな課題把握にあたる。</p> <p>(2) 定期的に教科会を開催するとともに、教科横断的な授業研究の取組を具現化する。</p> | <p>〈教育課程〉 (1) ① 具体的に改善が図られたか。(担当者による評価) ② 3修制卒業希望の実現率を高く維持できたか。(希望実現率) ③ 年間授業時間を確保できたか。(前年度比)</p> <p>〈学習指導〉 (1) Google for Education を効果的に学習活動に活用できたか。課題を把握できたか。(担当者による評価、生徒による授業評価)</p> <p>(2) 教科会を定期的に開催できたか。教科横断的な取組がなされたか。(担当者による評価)</p> |
| 2 | 生徒指導 ・支援 | <p>(1) 規範意識や他者理解(多文化共生)を身に付けた円満な人格を形成する。</p> <p>(2) 様々な問題を抱える生徒支援体制の充実を図る。</p> | <p>(1) 全職員による丁寧かつ粘り強い生徒指導に取り組み、生徒の相互理解に立脚した人間関係の構築力を育成するとともに、秩序・規律ある学習環境を維持する。</p> <p>(2) 生徒の自立に向けた支援体制を整え、自己肯定感や自己有用感を育む。</p> | <p>(1) ① 生徒実態に対応した生徒指導を、職員間での共通理解のもと、さらに深化させる。</p> <p>② 授業取り組み週間などの重点指導について、なお一層の工夫・改善にあたる。</p> <p>③ 日頃の情報収集や情報共有、細やかな目配りにより、いじめ・暴力等を未然に防止する。</p> <p>(2) 職員の組織的な支援体制を充実させるとともに、SCやSSWをはじめ、関係機関等と積極的に連携を図る。</p> | <p>(1) ① 生徒が基本的な規範意識を身につけ、落ち着いた学校生活を送ることができたか。(特別指導件数の推移等)</p> <p>② 巡回指導等の具体的な改良策を策定できたか。(特別指導件数の推移等)</p> <p>③ 的確な情報収集と情報共有、早期対応ができたか。(担当者による評価)</p> <p>(2) 生徒情報を職員全体で共有し、組織的な支援ができたか。関連機関等と連携できたか。(担当者による評価)</p> |

| | 視点 | 4年間の目標 (令和2年度策定) | 1年間の目標 | 取組の内容 | |
|---|--------------|--|--|--|---|
| | | | | 具体的な方策 | 評価の観点 |
| 3 | 進路指導 ・支援 | <p>(1) 職業観や勤労観を育成するための組織的な進路指導体制の充実を図る。</p> <p>(2) 外国につながる生徒等のキャリア支援体制づくりに取り組む。</p> | <p>(1) 計画的・系統的な実践を通じて、生徒に職業観・勤労観を身に付けさせ、自己の将来に対して意志をもって設計できるようにする。</p> <p>(2) 多文化教育コーディネーターや学習サポート支援員等と連携し、外国につながる生徒等の支援を推進する。</p> | <p>(1) 入学から卒業までを見通した積上げ式のキャリア教育を、総合的な探究の時間等を利用して取り組む。</p> <p>(2) 日本社会の中で自立できるための教科学習指導の充実をはじめ、多文化教育コーディネーターをはじめとする関連機関との連携を図る。</p> | <p>(1) 生徒に的確な情報提供、進路指導を行うことができたか。(担当者による評価)(卒業した割合、進学・就職率)</p> <p>(2) 多文化教育コーディネーターや学習サポート支援員等と効果的な支援を実施できたか。(担当者による評価)</p> |
| 4 | 地域等との 協働 | <p>(1) 地域に開かれた信頼される学校づくりに取り組む。</p> | <p>(1) 家庭・地域と連携し問題の未然防止や早期対応に取り組み、「協働」「共育」により安心・安全な学校づくりを目指す。</p> | <p>(1) ホームページやマチコミメール等を通じ保護者や地域に対し、積極的かつ速やかに情報発信を行い、教育活動の見える化を図る。</p> | <p>(1) ホームページの更新がスムーズにできたか。速やかに情報発信できたか。(担当者による評価)</p> |
| 5 | 学校管理 学校運営 | <p>(1) 常に安全・安心で快適に学べる教育環境の整備に努める。</p> <p>(2) 教員が子供たちと向き合う時間を確保するために、教員の働き方改革を推進する。</p> | <p>(1) ①事故・不祥事防止に取り組み、地域・保護者に信頼される学校づくりを推進する。</p> <p>②防災教育を推進し、生徒の防災意識の向上を図る。</p> <p>(2) 働き方改革を進めるにあたり、長時間時間外勤務の減少、休暇の取得を促進する。</p> | <p>(1) ①不祥事防止会議を実施し、時機に応じた適切な不祥事防止研修会を実施する。</p> <p>②地域等と連携して、防災教育を推進し生徒の防災意識の向上を図る。</p> <p>(2) 夏季休暇が取得しやすいような学校閉庁日を設定する。</p> | <p>(1) ①事故・不祥事ゼロを実現できたか。(事故・不祥事の件数)</p> <p>②生徒の防災意識の向上が見られたか。(担当者による評価)</p> <p>(2) 夏季休暇を適正に取得できたか。(夏季休暇の取得状況)</p> |